この世界の片隅に

ファンブック制作進行中!!!!!

漫画家や作家からの寄稿、
有名人・著名人のインタビューや対談、
そして、こうの史代先生を始めとする
関係者インタビュー等、
『この世界の片隅に』への愛が詰まった1冊!!

**イトカツ　とだ勝之　ヤマザキマリ　ひうらさとる
篠原健太　鈴木健也　清野とおる**

次ページより！

ファンブックに収録するものの中から、
本誌では先行してこちらの7名から頂いた
原稿をお届けします!!

イトカツ	本誌にて『銀のニーナ』（①～⑩巻）連載中

はてさて
弱ったねえ
う〜〜ん
何!?

森永ミルクチヨコレート
……
そうだ!!

すずさんに
これをあげよう!!
超便利
高解像度
カラーモニター
全自動刺繍機能付き
最新コンピューターミシン

すずさん
晴美ちゃん
これを
あげよう
森永あずき
キャラメル!!
未来の
お菓子
です
あずきキャラメル

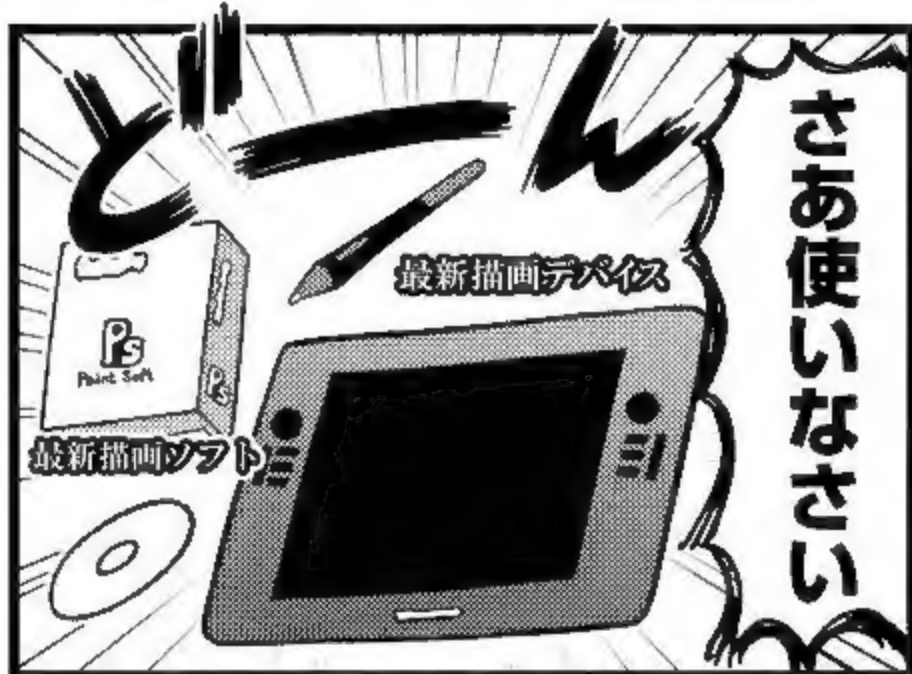
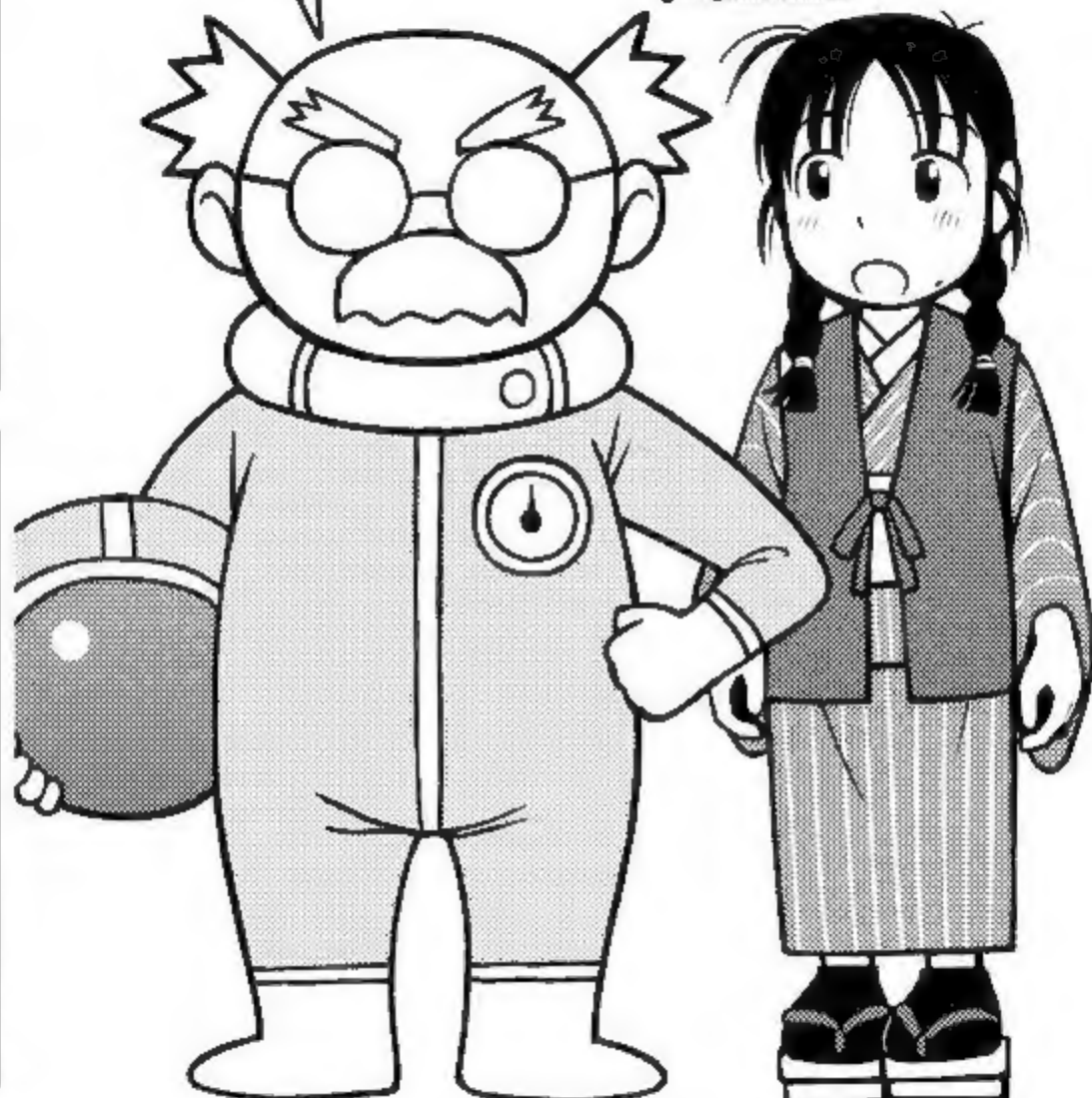
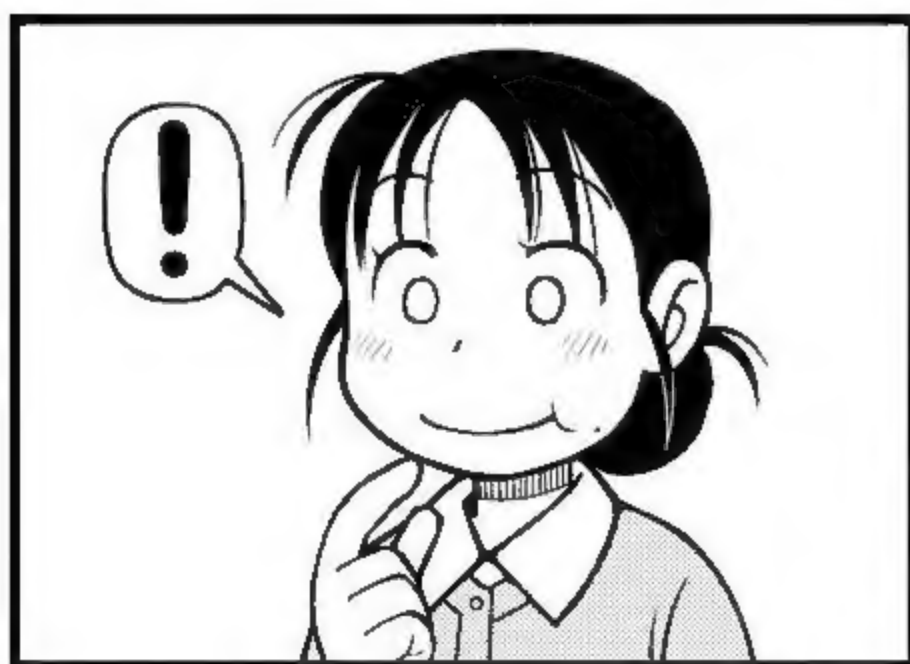
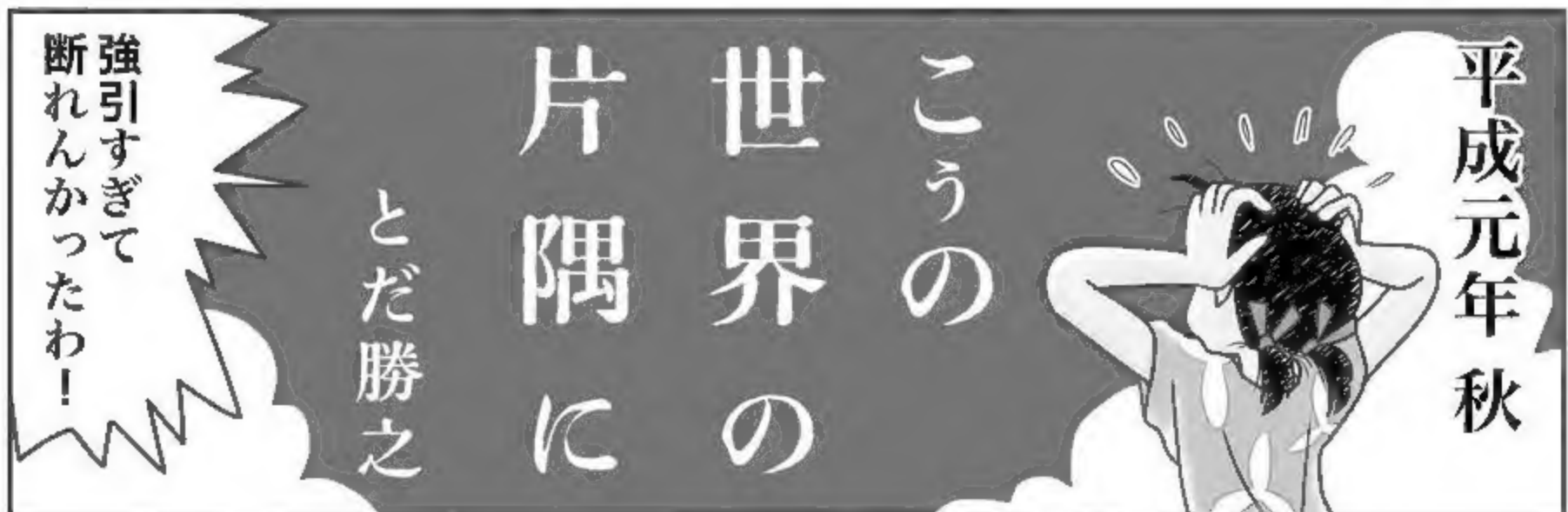
?
…あ
コンピューターって
わからないですよね

!

ずーん
未来人なのに
ワシは何て無力なんだ
カップめんのひとつでも
持ってくればよかった…

よかったね
あずき味
おいしー
おじさん
ありがとう

とだ勝之（かつゆき）｜こうの史代先生の師匠。代表作に『あきら翔ぶ!!』『DANDANだんく!』等

どう見てもこうのさんの絵

草野球チームのユニホーム作ったり、みんなで岩手旅行行ったり、結婚式でバンドやったり…

こうの史代さんは約5年間作品を手伝ってくれました…

平成28年11月

☆とだ勝之先生の原稿はファンブックではカラーで収録予定です

この漫画は事実を元にしていますが、作者の思い込みや誇張が多分に含まれていることを保証します。
（作者本人より）

映画を見た後、やや気持ちが落ち着いた後になってからふと思ったのは、すずさんという女性のあり方は、世界のどの国においても、理想のお嫁さん像なのではなかろうか、ということです。具体的に書き出してみると：

＊謙虚で慎ましやか
＊世の中の、現状の有様を受け入れ、過剰な理想や欲求に振り回されない
＊不平不満を内側に溜め込んでいるような態度を取らない（10円禿げはできるけど）
＊辛抱強い
＊元気
＊微笑ましい程度に天然
＊おっとりしているけど、情緒豊かで感受性が強い
＊怒っても、無闇にヒステリックにはならない
＊だれとでも仲良く付き合える
＊人の悪口を言わない
＊家事全般をやりこなせる
＊退屈な女性ではなく、絵を描くといった、表現への思い入れがある

まだまだ挙げるべきすずさんという女性の美徳はありますが、こんな資質の女性であれば古今東西、アフリカであろうと中東であろうとヨーロッパであろうと、だいたいどの地域でも引く手数多となること間違いありません。

そんなすずさんと対照的な様子の小姑、黒村径子さん。
径子さんはどちらかというと欧米系のリベラル精神の持ち主であり、女性像としてはこの径子さんのほうが、すずよりもずっと現実的と言えるでしょう。
思った事ははっきりと言葉に代え、直感に素直に行動し、お見合いではなく好きになった人と結婚。夫が病死をした後は、息子を夫の両親に託し自分は娘と実家に戻ってきたという筋書きだけでも、径子さんが波乱万丈の宿命を背負った人であることがわかります。でもその波乱万丈は、彼女の行動力とその性格によってもたらされたものでもあり、彼女自身もそれを自覚しています。
すずのようにおっとりとして、なりゆきに身を委ねているような女性は、てきぱきと自分の判断で行動する径子さん的にはいらいらするでしょう。でも、径子さんのそんな強さや意地は、実は彼女が背負い続けてきた重さに負けないための甲冑や鎧兜だと言えます。
映画の最後のシーンですが、径子さんが広島からすずが連れて帰って来た戦災孤児に、死んでしまった娘・晴美の服を取り出すところがあります。自分の子供を失うということがどれだけ過酷なことか、しかも彼女には、自分で選択をして得た家族は周りに誰も残っていません。その心境は想像しただけでもぞっとしてしまいますが、あの場面での、鎧兜を身につけていない無防備な径子さんの態度には、圧倒されるほどの健気さと優しさが垣間見えます。
この物語の中では、すずだけでなく、登場人物の全員がそれぞれ現実と向き合いながら人知れず様々な葛藤を胸中で繰り広げているわけですが、あの時代に自らドラマチックな生き方を選択した径子さんという存在も、この物語における、もうひとりの大事な主人公なのだと思っています。晴美さんの人生は短く儚かったけれど、素晴らしいお母さんに恵まれて本当に良かったと思います。

「この世界の片隅に」に登場する
大好きな女性３人

「この世界の片隅に」
大好きです!!
何度見ても細かな発見と感動が
あります。
ひうらさとる
「kiss」にて「ホタルノヒカリSP」、「月刊YOU」にて「貴族探偵」連載中。
現代に
すずさんが
いたら
ipadで
スケッチ旅行
してるかも…。
すずさんの仕草がいちいちステキなん
ですが
特にお料理を作っている時が
好きです
SATORU.
HiURA
2017
北條

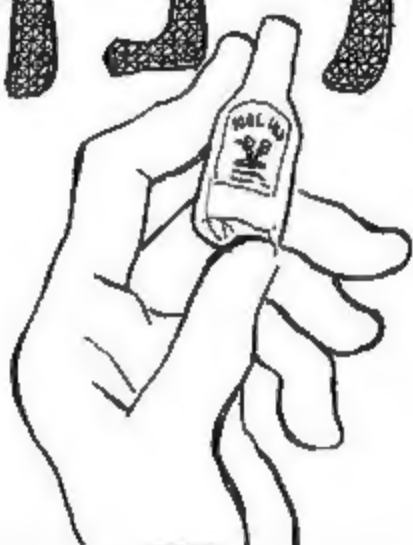
篠原健太

「少年ジャンプ+」にて
『彼方のアストラ』（①～③巻）連載中

日常生活が続くだけのシーンでも
なぜか目が離せないのは
日付が出てくるからではないかと思います
笑顔のすずさんを微笑ましく目で追いつつも
「あの日」に近づいていく数字に
心をざわつかせながら観ていました
僕はすずさんが
原爆の被害に遭うと思っていたので
予想が外れた事に心底ホッとし
だから尚更
終戦前の爆発シーンが忘れられません

孤児を呉に連れ帰ったところで
こらえていた涙がどっとあふれ
ラストまで泣きっぱなしでした
でも一番泣けたのは
その後のすずさん達をイラストで描いた
あのエンドロール
結局最後まで目が離せませんでした

鈴木健也

『おしえて！ ギャル子ちゃん』（①～④巻）、『映画もおしえて！ ギャル子ちゃん』連載中

⑯長谷川良平／広島カープのエースで、昭和三〇年に三〇勝一七敗で最多勝利に輝きました。また同じ年に通算一〇〇勝も達成しています。

㊟方言協力・澤江ポンプ夫妻とそのお父上。

「『この世界の片隅に』を観に行ったこと」

清野とおる

本誌にて「ウヒョッ!東京都北区赤羽」を連載中。「モーニング」で「その「おこだわり」、俺にもくれよ!!」、「SPA!」で「ゴハンスキー」、「ヤングアニマルDensi」で「LOVE & PEACE」を連載中。

豪華作家陣による特別寄稿は次号も掲載!!

☆清野とおる先生のイラストはファンブックではカラーで掲載されます

開催中!!!!

この世界の片隅に

こうの史代原画展

5.13(土)-5.30(火)

タワーレコード渋谷店
SpaceHACHIKAI

すずの日常から印象的な名シーンまで、
カラー&モノクロ原画を多数展示!
この会場でしか購入できない記念グッズも販売!
さらに、入場者特典として、
こうの史代先生描き下ろしイラストを使用した
オリジナルポストカードをプレゼント!
生の原画を味わえる数少ない機会ですので、お見逃しなく!!

こうの史代先生
描き下ろしの
すずが特典に!!

▼入場特典ポストカード

〜企画展情報〜
こうの史代「この世界の片隅に」原画展

【日程】
2017年5月13日(土)〜5月30日(火)
【会場】
会場:タワーレコード渋谷店8F SpaceHACHIKAI
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-22-14
【営業時間】
11:00〜21:00(最終入場20:30)
※最終日のみ18:00まで(最終入場17:30)

【入場料】
800円(税込) ※未就学児無料
【主催】こうの史代「この世界の片隅に」原画展実行委員会
【協力】タワーレコード渋谷店
【制作】マットエンタープライズ
詳しくはこちら→http://www.futabasha.co.jp/introduction/konosekai/

第13回文化庁メディア芸術祭優秀賞

こうの史代

この世界の片隅に

上・中・下巻発売中

続々重版中!! 累計100万部突破!!

戦時下の広島・呉を生きる、すずの日常と奇蹟の物語

アクションコミックス 定価：各648円＋税 A5判

映画の感動を、より深く

関連本、大好評発売中!!

続々重版中!!

ノベライズ
「この世界の片隅に」

原作：こうの史代
ノベライズ：蒔田陽平
文庫判　定価：本体 565 円＋税

続々重版中!!

「この世界の片隅に」
劇場アニメ公式ガイドブック

原作：こうの史代　監督：片渕須直
B5 判　定価：本体 1,800 円＋税

重版出来!!

「この世界の片隅に」
劇場アニメ絵コンテ集

絵コンテ：片渕須直 浦谷千恵
原作：こうの史代
A5 判　定価：本体 3,500 円＋税

続々重版中!!

旅写真集
のん、呉へ。2泊3日の旅
～「この世界の片隅に」すずがいた場所～

のん
写真／北浦敦子
B5 判　定価：本体 1,500 円＋税

双葉社